
ナガレユク

彩瀬姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ナガレユク

【Nコード】

N6033G

【作者名】

彩瀬姫

【あらすじ】

詩。ふと思いついた詩です。悲しい恋の詩。

ナガレユク

時間^{とき}はナガレユク 瞬間^{とき}はナガレユク

「この時間が、ずっと続けばいいのに……」

君の手をギューツと握りしめながら、そう感じた

二人で笑いあったとき

手を繋いで歩いたとき

喧嘩して仲直りした後、泣き笑いながら話したとき

ただ黙ってお互い見つめあったとき

恥ずかしそうに「好き」と言われたとき

それだけで幸せだったよ

君がいれば

二人だけで生きていける

僕は本当にそう思っていたんだ

でも現実はそのもいかなんだね

君が僕に別れを告げたとき

君が僕の目の前からいなくなったとき

僕の心の中が空っぽになった

カラダが震えた

雨のようにザーザーと涙が頬へ流れていつて
悔しさばかりが

僕の頭の中を駆け巡る

カラダの震えも

涙も

止まらない

そして

君を繋ぎ止めることができなかった
繋ぎ止める言葉が
声にならなかった

「行かないで」

「僕の傍にいてほしい」

本当はそう言いたかったのに……

時間はナガレユク 瞬間はナガレユク

カラダの震えも

涙も

自然に止まるだろう

だけど

幸せは儚く散ってしまう

今まで大切にしてきたものが

一気に壊れてしまう

幸せだった日々は現実^{いま}ではなく

想い出に変わってしまった

時間はナガレユク 瞬間はナガレユク

とを止めることは誰にもできない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6033g/>

ナガレユク

2010年10月28日06時55分発行